

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 楽学喜サポートanemone西原

保護者等数(児童数)9名 回収数 8名 割合 88%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	8	0	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切である	8	0	0	0		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	2	0	0		
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	8	0	0	0		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8	0	0	0		・個別支援計画には年齢や発達段階、特性に応じた具体的な支援内容等を盛り込む様に心掛けています。一方でガイドラインを意識した内容かどうかについてはまだ不十分な面もあります。ガイドラインの視点をスタッフ全員で確認しながら日々の支援を行っていきます。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	0	0		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	7	0	0	1		・活動プログラムにおいては「経験を積み重ねる」という意図であって固定化しているプログラムもあります。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6	1	1	1		・近隣公園へ行くと自然に、地域の子供達や他の事業所のお友達、時には児童クラブのお友達と関わる機会が多々あります。 ・遠くの児童館や学童クラブで交流するのも良いとおもいますが、地域性を考慮すると、近隣公園での交流がベターだと思っています
10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	8	0	0	0			

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
適切な 支援の 提供	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	8	0	0	0		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	3	0	1	4		・ペアトレーニング研修を受講し、家族支援していけるよう準備を進めていきたい
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	7	0	0	1		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	7	0	0	1		・モニタリング等の機会を利用し、保護者と現在の様子を確認、共有しながら助言を行っています。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	2	1	1	4		・今年9月に保護者会(講和、おしゃべり会等)を実施予定です。ぜひご参加下さい。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	7	1	0	0		・ご意見や質問、相談等についてはご遠慮なく申し出て頂ける様、スタッフからお声掛けする機会を設けます。またできるだけ迅速、かつ丁寧に対応できる様な体制を整えます。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	8	0	0	0		
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	8	0	0	0		
19 個人情報の取扱いに十分注意されている	8	0	0	0		・契約時に個人情報取り扱い同意書で同意を得て、写真の公表等に配慮しています。	
非常時等	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	7	0	0	1		・各マニュアルは策定されていますが、保護者への周知、説明には至っておりません。保護者会等の機会を作り、周知できる様努めます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
の 対 応	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	7	0	0	1		・年に3回定期的に避難訓練(火災・地震・不審者対応)を実施、避難訓練報告書を作成しています。今後は保護者の皆さまへも訓練内容や実施結果等をお伝えしていきます。
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしている	7	1	0	0		・引き続き、お子様、保護者の皆さまが満足して頂ける様、スタッフ一同日々努力してまいります。
	23	事業所の支援に満足している	8	0	0	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年6月1日

事業所名 楽学喜サポートanemone西原

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	0	・もう少しスペースがあるとのびのび遊べるかもしれない...	・活動スペースを最大限に活用できるように事務室の机、玩具箱の配置等工夫
	2	職員の配置数は適切である	2	3	0	・配置数が少なすぎる時はヘルプをだしている ・死角が出来ない様、立ち位置や座る位置を考えながら対応しています。	・病欠が出た時等、業務上人手不足になる時があるが、同関連事業所内で補っている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1	0	・車椅子もは入れる	・前方入口に階段があるが、後ろに回ると車椅子も入室可能
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	0	・朝かならずやる	・半年ごとにモニタリング実施
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	0	・ブログで	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	0	・虐待防止、ウイルス対策等参加している	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	0		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	0	・新しいプログラムを毎月入れている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	0	・その日で共有出来なかった場合は翌日の朝会で共有しています。 ・当日の振り返りが難しかった場合は、翌日のミーティング時に共有している	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	0		
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	1	0			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3	2	0			

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	0		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	2	3	0	・学校への送迎時に学校での様子や下校時刻の確認等を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている					
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	2	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	2	1		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	0	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	0	0	・近くの公園で良く遊んでいる	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	3	0		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	1	0		
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3	1		・ペアレントトレーニングという視点では十分に行えていない部分もある。今年度ペアレントトレーニング指導者養成研修を受講したスタッフがいる為、今後家族支援プログラムとして準備を進めていきたい。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	0	・SNSを介して相談に対するコメントを返したり、必要に応じて直接自宅訪問を行い支援を行っています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	1	3	・親子もちつき会をした。毎年ある	・今年度は達成できなかった為、次年度以降から保護者同士の連携支援にも取り組んでいきたいです
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	0	・月1回便りを発行し写真で事業所での様子を発信している。ブログは更新頻度が低い為、定期的に投稿する事を目指したいです。	
	35	個人情報に十分注意している	5	0	0	・徹底している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0		
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	0	0	・秋祭り、事業所でやって他の人にも来てもらっている ・毎年事業所内で秋祭りを企画し開催しています		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	1	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0	3	2	・身体拘束を行う必要のある児童が不在。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	3	0	・保護者に聞き取りを行い気を付ける点等を確認して対応しています	・医師からの指示所のコピーを頂く
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	0		

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和6年月31日

事業所名 楽学喜サポートanemone西原

保護者等数(児童数)19名 回収数 12名 割合 63%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	2	0	・1日の受入れる児童の人数による	・受入れ人数によっては、室内、課外に分かれて活動し工夫をしております
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	2	0	・何をもちて専門性を判断〇〇士、専門職を配置しているなど聞いていない	・10名定員に対し2名以上児童指導員や保育士、を配置しています ・「何をもちて専門性なのか…」私たちも日々考えを巡らせ、悩んでいる所です。大前提として、日々子ども達に向き合い、保護者の気持ちに共感しながら、共に未来を想像できる職員でありたいと思っています。 ・資格の開示については年度初めに職員紹介のお手紙を配布しますのでご確認ください。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	5	1		・正面側は階段がありませんが、駐車場側からは車椅子の入室も可能です。職員室側には車椅子用トイレも設備されています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	11	1	0		
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9	3	0	・自由な時間が多いらしい、それが、活動プログラムかどうかかわからないので、どちらとも言えない	・現代の子ども達は「自由な時間が無い」と言われています。自分で選択し、自分で決めて、行動(遊ぶ)する。これが自立への第一歩と考えています。 ・活動プログラムにおいては「経験を積み重ねる」という意図で固定化している物もあります
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	5	2		・事業所近隣公園へ行くと自然に、地域の子ども達や他の事業所のお友達、時には児童クラブのお友達と関わる機会が多々あります。 ・遠くの児童館や学童クラブで交流するのも良いとおもいますが、地域性を考慮すると、近隣公園での交流がベターだと思っています

保護者への説明等

7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	1	1	・十分ではない。	・送迎時に事業所や家庭、学校でのお子様の様子についての共有、SNSの活用、また定期的な面談を通して十分に説明を行う様努めていきます。
8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	2	0		
9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	4	0	・現状、子ども自身が落ち着いているので、相談する事が無いので、私が活用しきれていないので、わかりません	・送迎時、連絡帳、モニタリング等の機会を利用し、保護者と現在の様子を確認、共有しながら助言を行っています。お伝えする時は丁寧な対応をスタッフ一同心掛けます。
10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	7	4	・コロナが5類になったばかりで活動も手探りなのだと思います。	・今年9月に保護者会(講和、おしゃべり会等)を実施予定です。ぜひご参加下さい。
11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	5	0		・ご意見や苦情等についてはご遠慮なく申し出て頂ける様環境作りをします。事業所内には意見箱の設置も行っています。また苦情が発生した場合はできるだけ迅速かつ丁寧な対応を心掛けていきます。
12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	3	0		・構造化や統一した声掛け等、必要に応じて個別に対応し分かりやすく伝える様工夫しています。保護者に対しては送迎時や連絡帳等を利用しお伝えしています。
13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	3	1		・法人のホームページや、anemone便りの定期発行、SNS等を活用し日々の活動の様子を発信しています。また事業所評価については毎年年度初めに法人ホームページに掲載、また配布を致しますのでご確認下さい。
14	個人情報に十分注意しているか	12	0	0		

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	7	4	1	・各マニュアルは策定されていますが、保護者への周知、説明には至っておりません。保護者会等の機会を作り、周知できる様努めます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	0	0	
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	10	2	0	・家では一人遊びになってしまうので、他の子と遊んだり新しい遊びを教えてもらったりと楽しんでいるようです。
	18	事業所の支援に満足しているか	10	1	1	・いつも丁寧に支援してくれて、ありがとうございます ・子どもが落ち着いている事「楽しい」と言っているので、おおむね満足しています

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和6年6月1日

事業所名 楽学喜サポートanemone西原

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		・活動スペースを最大限に活用できるよう事務室机、ロッカーの配置、玩具の配置等を工夫している	・もう少しあればありがたい ・配置数が少ない時はヘルプを呼んでいる
	2	職員の配置数は適切である	7		・お迎え時間が重なる時は法人内でヘルプスタッフを調整し対応している。 ・人数が少ない時には立ち位置や座る位置等、子ども達が安全に過ごせる様考慮しながら対応しています。	・スタッフ配置数が少なすぎる時はヘルプを出している。 ・病欠が出た時に、業務上人で不足になる時があるが、同関連事業所で補っている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7			・車椅子も入れる
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7			・朝かならずやる
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7		・週1回ケース会議を開催し、利用児童への支援計画立案や評価を行っている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			・ブログにて
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2		・現在第三者による外部評価は行っていないので、繋がりのある事業所に声を掛けて依頼したい
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7		・感染防止対策、虐待防止研修等、県や市町村の行う研修に参加している	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2		・えいぶるノートを参考に事業所独自のアセスメントシートを作成している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	7			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	7			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7		・毎月違う事を入れている	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	7				

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	7		・その日での振り返りが難しい場合は、翌日のミーティングにて共有しています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	7			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6	1		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5		2	・現在インスリンを自己注射している児童が利用している。注射時の見守り、保護者との連携、主治医とのカンファレンス参加等を行っている。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	5		2	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1		
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	1		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6	1		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
の 連 携	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	7		・地域の児童との交流や他児童デイとの活動機会をイベント企画をして行っている	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	3		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	1		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	2	・保護者から相談を受けた際に、個別で支援を行っています。	・ペアレントトレーニングという視点では十分に行えていない部分もある。今年度ペアレントトレーニング指導者養成研修を受講して今後の家族支援に繋げていきたい
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	7			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	1		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	1		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		7		・今年9月に行う予定、STやOT等専門的な視点からの講和と交流会が出来ればと思っています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7			
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	7			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7			
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	1		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	2	・保護者より聞き取りを行い、対応しています。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7			
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	2	・支援計画に記載まで行っていない	・必要になった時に対応

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。